

県立高等学校再編整備 第2次実施計画（概要版）

1 計画の趣旨

この計画では、坂井地区（あわら市、坂井市）、若狭地区（小浜市、高浜町、おおい町、旧上中町）における職業系専門学科を中心とした全日制県立高校の再編整備の方向性について定める。

2 計画の期間

計画の期間は、平成24年度から26年度までの3年間とする。

3 計画の内容

【坂井地区】

◆ 再編整備方針

- ・ 坂井農業高校、春江工業高校、金津高校商業科、三国高校家庭科を統合再編し、総合産業高校を新たに設置。校地は、坂井農業高校とする。
- ・ 金津高校、三国高校、丸岡高校については進学体制を強化。普通科の定員割合を引き上げ。
- ・ 春江工業高校の校舎・敷地等については、当面、春江工業高校の在校生や総合産業高校の教育施設として活用。
- ・ 総合産業高校を平成26年4月を目途に開校。

◆ 普通科系高校の特色

- ・ 中高一貫教育の推進や特別進学コースの強化などにより難関校受験に対応。
- ・ 金津高校に商業系大学への進学コースの設置を検討し、幅広い進学ニーズに対応。
- ・ 三国、丸岡高校においても、地域の特色を生かした独自科目の設定を検討。

◆ 総合産業高校の特色

- ・ 商業科：簿記や商品流通、情報処理などの基礎的知識・技術を習得。専門学校等との連携強化による専門的な商業教育の展開。
- ・ 家庭科：暮らしに関する幅広い知識・技術を習得するとともに、デザイン・ファッション等を学習し、服飾、インテリア、商品企画などの分野で活躍する人材を育成。
- ・ 工業科：機械、自動車、電気・情報の基礎的知識・技術を習得。地域の企業や研究機関等と連携し、実践的で最先端の工業教育を展開。
- ・ 農業科：地域の農家や研究機関等との連携による実践的、先進的な農業技術を習得。地元農産物の加工から流通・販売までを総合的に学習し、経営感覚を醸成。
- ・ 総合選択制の導入により、生徒の興味・関心に応じた多様な科目を提供し、進学を含む幅広い進路ニーズに対応。
- ・ 山室農場を学校農場と位置づけ、収穫から販売まで学科横断による実践教育を展開。また、農業体験を通じた人間形成や自然環境学習の場として、全生徒で活用。

<再編整備後の新体制の姿>

【現 行：平成24年度】総定員数：888名

No.	高校名	学科名	1学年当たりの学級数	1学年当たりの定員数	備考
1	金津高校(266)	普通科	6	194	商業科
		経理科	1	36	
		情報処理科	1	36	
2	丸岡高校(163)	普通科	5	163	
3	三国高校(222)	普通科	5	190	家庭科
		家政科	1	32	
4	坂井農業高校(93)	生産技術科	1	31	農業科
		食品科	1	31	
		環境システム科	1	31	
5	春江工業高校(144)	機械科	1	36	工業科
		自動車科	1	36	
		電気科	1	36	
		情報システム科	1	36	



【再編後：平成26年度】総定員（見込）数：870名

No.	高校名	学科名	1学年当たりの学級数	1学年当たりの定員数	備考
1	金津高校(220)	普通科	7	220	
2	丸岡高校(170)	普通科	5	170	
3	三国高校(200)	普通科	6	200	
4	総合産業高校(280) 【校地：坂井農業高校】	ビジネス・生活デザイン科	2	70	商業科 家庭科
		機械・自動車科	2	70	工業科
		電気・情報科	2	70	
		農業科学科	2	70	農業科

- ※ 総合産業高校の学科名は全て仮称
- ※ 再編後の総定員（見込）数は、地区の中学校卒業見込数から推計した数。
- ※ 学級数、定員数については仮の数字。生徒の志望動向等によって、変更する。

【若狭地区】

◆ 再編整備方針

- ・ 小浜水産高校を若狭高校に統合、新たに「海洋科学科」（仮称）を設置。小浜水産高校専攻科は廃止。
- ・ 若狭東高校農業科、工業科と若狭高校商業科を統合再編、若狭東高校を母体とした総合産業高校を設置。
- ・ 普通科系学科については、若狭東高校の普通科を廃止、若狭高校に集約。
- ・ 小浜水産高校の敷地・校舎等については、引き続き水産教育に活用。
- ・ 大型実習船については廃止することとし、今後のカリキュラム検討を踏まえ、他機関等との共同運航などを検討。
- ・ 総合産業高校、若狭高校海洋科学科（仮称）を、平成25年4月を目途に開校・開科。

◆ 若狭高校の特色

- ・ 平成24年度から文理探究科を設置し、難関大学への進学対応を強化。
- ・ 商業系大学への進学コース設置を検討し、より幅広い進路ニーズに対応。
- ・ スーパーサイエンスハイスクール（SSH）を活用し、国際的に活躍する人材を育成。
- ・ 県立大学海洋生物資源学部と連携し、魅力的で質の高い海洋・水産教育を展開。普通科教育を重視し、自然科学系大学への進学に対応。
- ・ 地域の事業者等と連携して水産物の加工から販売まで実践教育を展開。海洋資源や船舶に関する知識・技術の習得、資格取得を促進。

◆ 総合産業高校の特色

- ・ 商業科：簿記や商品流通、情報処理などの基礎知識・技術を習得。若狭の産業や観光について深く学習し、地域に根差した商業教育を展開。
- ・ 農業科
「農業科学科」：地域の事業者や研究機関等との連携による、実践的、先進的な農業技術の習得。若狭の特産物の加工から商品開発・販売まで総合的に学習し経営感覚を醸成
「生活科学科」：介護・保育などの幅広い知識・技術を習得。若狭の伝統的な食文化の継承や創造を担う人材育成をめざし、食に関する幅広い教育を行う。
- ・ 工業科：電気・機械分野における基礎的な知識・技術の習得、資格取得の促進、地域の企業等と連携した実践的な教育を展開。
- ・ 総合選択制の導入により、生徒の興味・関心に応じた多様な科目を提供し、進学を含む幅広い進路ニーズに対応。

＜再編整備後の新体制の姿＞

【現 行：平成24年度】総定員数：567名

No.	高校名	学科名	1学年当たりの学級数	1学年当たりの定員数	備考
1	若狭高校(293)	普通科	5	181	
		文理探究科	2	50	
		商業科	1	31	商業科
		情報処理科	1	31	
2	若狭東高校(184)	普通科	2	60	
		産業技術科	1	32	農業科
		生活科学科	1	32	
		電子機械科	1	30	工業科
		電気科	1	30	
3	小浜水産高校(90)	海洋科学科	1	30	水産科
		食品工業科	1	30	
		水産経済科	1	30	



【再編後：平成25年度】総定員（見込）数：500名

No.	高校名	学科名	1学年当たりの学級数	1学年当たりの定員数	備考
1	若狭高校(320)	普通科	6	220	
		文理探究科	2	50	
		海洋科学科	2	50	水産科
2	総合産業高校(180) 【校地：若狭東高校】	ビジネス情報科	2	60	商業科
		農業科学科	1	30	農業科
		生活科学科	1	30	
		電気・機械科	2	60	工業科

- ※ 若狭高校海洋科学科および総合産業高校の学科名は仮称
- ※ 再編後の総定員（見込）数は、地区の中学校卒業見込数から推計した数。
- ※ 学級数、定員数については仮の数字。生徒の志望動向等によって、変更する。

今後のスケジュール

【新体制移行までの主なスケジュール（予定）】

年度	坂井地区	若狭地区
H24	<ul style="list-style-type: none"> ・準備委員会設置 ・総合産業高校の学科、カリキュラム等検討 ・施設・校舎の利用計画の検討 ・必要な施設・設備の整備の検討 ・教育目標の設定 ・学校案内等の作成 ・生徒、保護者、学校関係者等への周知 	<ul style="list-style-type: none"> ・準備委員会設置 ・若狭高校、総合産業高校の学科、カリキュラム等検討 ・施設・校舎の利用計画の検討 ・必要な施設・設備の整備の検討 ・教育目標の設定 ・学校案内等の作成 ・生徒、保護者、学校関係者等への周知 <ul style="list-style-type: none"> ・実習船のあり方の検討 ・施設・設備の整備、人員配置検討 ・新高校の校名等の検討 ・県立学校設置条例改正 ・生徒募集（推薦入学、一般入学者選抜）
H25	<ul style="list-style-type: none"> ・施設・設備の整備、人員配置検討 ・新高校の校名等の検討 ・県立学校設置条例改正 ・生徒募集（推薦入学、一般入学者選抜） 	<ul style="list-style-type: none"> ・総合産業高校開校、若狭高校海洋科学科（仮称）開科
H26	<ul style="list-style-type: none"> ・総合産業高校開校 	

※ 施設・設備の整備は、カリキュラムの内容や検討の進捗状況を踏まえ、計画的に実施。